

# 被災地 NGO 協働センター—2015 年度事業報告

## 【事業概要】

1. 寺子屋事業
2. まけないぞう事業
3. 災害救援事業
4. 提言(アドボカシー)・ネットワーク事業
5. 広報活動
6. その他

## 【事業内容】

### 1. 寺子屋事業

(A)2015 年度は、阪神・淡路大震災 20 年の検証と東日本大震災の検証の寺子屋を 4 回開催と番外編寺子屋 1 回開催。

阪神・淡路大震災及び東日本大震災広域複合災害の検証阪神・淡路大震災や東日本大震災の検証につながる問題について学びのための寺子屋については、予定通り 3 回開催した。

5/4 第 1 「5 年目の福島と向き合い 水俣から学ぶ」  
～考えてつながろう、自然ともつながろう～  
講師:谷洋一さん(アジアと水俣を結ぶ会 事務局長)

6/22 第 2 回「阪神・淡路大震災から 20 年 災害ボランティアのその後」～できることは自分で、できないことは一緒に～  
講師:林大造(神戸大学学生ボランティア支援室)/岡本芳子(たつの女性が担う地域防災塾)/頼政良太(被災地 NGO 協働センター)

7/2 第 3 回「障がい者について学ぼう」～気軽にボランティアしてみよう～ 講師:風裕之さん・井奥裕之さん(Be すけっと)

8/31 第 4 回「阪神・淡路大震災の取り組みを契機に見えたこと、NPO、NGO に関わって」～「いま」を大切に生きよう～ 講師:市川斉さん(シャンティ国際ボランティア会常務理事)

(B) 上映会については、以下の開催。

7/11 「光りの島 ISLAND OF LIGHT」大重潤一郎監督作品  
8/5 「風の島」大重潤一郎監督作品

(C)その他

番外寺子屋

12/22 「大阪 W 選から見て、神戸市政を考える」  
講師:林大造さん(しみんマニフェスト大阪 UP)

### 2. まけないぞう事業

岩手県中心に「まけないぞう」事業を展開。現在の作り手の人数は 53 人となった。5 年目の節目を迎えたものの、仮設住宅での暮らしは今後も数年かかる。歯抜け状態の仮設住宅でコミュニティが崩壊しつつあり、また復興住宅でのコミュニティ形成も難しく、ひきこ

もってしまうような、不安を抱えた生活を余儀なくされた。これからの 5 年を被災者の方がどう生活をしていくか、私たちがどのようにサポートできるのか? 本当に難しい状況に入っている。

そんな中でも、まけないぞうを心の支えにして、生活しながら、まけないぞうを通して、心のケアにつながった。ある作り手さんは、「まけないぞうで貯めたお金は、ずっと手をつけずにとっておいてあるの。もう 30 万円貯めたよ。家を再建した時に記念になるものを買うんだ」と言ってくれた。30 万円ということはすでに 3000 頭も作ったことになる。一方でまけないぞうの支援者からのメッセージを以下に紹介する。

\*\*\*\*\*

桜ももうすぐ見頃を迎えます。まけないぞうさんも湯田小卒業生にプレゼントして 20 年過ぎようとしています。卒業生、担任の先生方が、自分たちも何か役に立ちたいと毎年タオルを集めて「送って下さい」と持ってきてくれます。ほんの小さな気持ちがつながって、つながって和になっていくんだなあと改めて思います。小学生の気持ちを送らせて頂きます。お役に立てれば幸いです。(広島県福知山市)

\*\*\*\*\*

岩手県釜石市の不動寺森脇妙紀さんが「婦人の友」に投稿して頂き、たくさんのぞうの注文があった。

・実績:11,287 頭出荷(うち子ぞう・親子ぞう・リングぞう、カップルぞうは 3,580 頭)

・回収、作り方講習会(岩手県遠野市、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市など)

6/3～6/19、7/23～8/9、11/6～11/13、3/7～3/23、3/12～15(ヒアリング・頼政)

・まけないぞう報告会等

9/25 隣保館(香川)

9/26 溝渕さんの地元グループでの講演会(香川)

12/8 TPO(タオル仕分け隊)との打ち合わせ

・イベント等での販売

4/26～4/29 高幡不動/春の国宝祭り(東京)

5/3 わかちあい祭り(京都)

5/3 高槻ジャズストリート 2015

7/24～7/28 第 4 回川徳 絆フェア

10/11 美味しい! たかつき。食の文化祭 たかつきジャズとグルメフェア 2015

10/20 全国隣保館館長研修会

### 3. 災害救援事業

1) 国内災害に関する救援・復興・提言活動

(A) 災害発生時の対応

2015 年度は 9 月に発生した「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」

水害により、茨城県常総市にスタッフを派遣し、活動にあたった。当初は常総市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターのサポート行いながら、地元の NPO 法人茨城 NPO センター・コムンズを中心に NPO 連絡会議が開かれ、避難所・炊き出し・足湯・法律・行政・片付け・外国人支援など、それぞれの課題を共有し、問題解決に向けて常総市へ提案書を 3 回提出した。同時に6者会議として、茨城県・常総市・県社協・市協・地元 NPO ・外部支援者などと共有会議を開き、情報の共有を行った。頼政代表は、震災がつなぐ全国ネットワークのメンバーとして他団体との連絡調整を行い、その他のメンバーは災害ボランティアとして、現地での活動を行った。また今後にはむけ市民がつくる復興計画づくりへのアドバイスをし、参画もしてきた。

また、広島土砂災害から1年を迎え、安佐南区緑井で高野山真言宗広島青年教師会有志とともに、同区上組町内会のみなさんと一周忌を開催した。

・茨城県常総市水害派遣

9/12-18、9/28-10/19、10/22-11/5、2/12-19(増島)

9/14-18、9/22-10/10、10/13-23、10/27-30、11/6-12、11/19-21、11/30-12/2、12/15-18、1/22-26、2/14-15(頼政)

9/12-14(村井)

・広島市土砂災害派遣

6/28-30、8/17-21(増島)

8/18-22(頼政)

#### (B) 東日本大震災支援の継続

まけないぞう事業は引き続き、神戸からのサポート体制を継続した。5年を迎えた被災地では、いまだ仮設暮らしが余儀なくされている。住宅の格差が生まれ、先の見えない不安も広がってきた。

※まけないぞうについてはまけないぞう事業の項、足湯ボランティアのつぶやきガイドブックについては提言・ネットワーク事業を参照

#### (C) 復興支援活動

・まけないぞう事業

2.を参照

・KOBE 足湯隊のサポート

当センターが事務局を努める「KOBE 足湯隊」は、主に能登半島(2007 年地震発生)・兵庫県佐用町(2009 年水害発生)・茨城県常総市(2015 年水害発生)など地震や水害の被災地に出かけてきた。能登半島地震の被災地では、毎年継続的に熊甲祭りに参加。

同足湯ボランティアは、2010 度から神戸学院大学を初めとする「ボーアイ4 大学連携事業」として、佐用町へ 15 人程度の大学生(神戸大学、神戸女子短期大学、神戸学院大学)が年に 2 回入った。

東日本大震災では、神戸大学東北ボランティアバスのメンバーが被災地での足湯ボランティアを継続して行っている

・ミーティング:5/13、11/16、12/7、1/6、2/9、3/1

・その他

4/26 KOBE 足湯隊新入生向け足湯講習会

9/3 神戸大学ボランティアバス打合せ

11/9 神戸学院大学足湯講習

11/22 神戸学院大学足湯ボランティア(佐用町)

12/3 神戸大学ボランティアバス総会

12/19 灘地域活動センター足湯(足湯隊)

11/18-22 能登奥間兜祭り

1/31 イザ!美カエル大キャラバン

(D) 南海トラフ巨大地震に対して

・たつの女性が担う地域防災塾との協力

2013 年度に引き続き、たつの女性が担う地域防災塾(たつの市)の活動へ参加。同塾生の足湯ボランティア講習会やたつの市内でのまちあるきや災害時図上訓練、クロスロードゲームの講師を務めた。

5/17 たつの足湯講習会

7/21 たつのジュニアスクール

12/12 ボランティアセンターのワークショップ

12/20 たつの御津社会福祉協議会での図上訓練

1/30 たつの災害時図上訓練(地震編)

3/5 たつの避難所ワークショップ

3/16 たつの災害時図上訓練(地震編)

・お寺防災の継続

アーユス関西が解散したため継続が困難となった。

・高知県黒潮町などとのつながりの継続

高知県黒潮町には訪問することができなかった。2014 年 8 月の水害緊急支援で徳島県海陽町など徳島県関係者とのつながりを深めた。

#### 2) 海外災害に対する緊急救援活動とその後の復興へつなげる支援活動

当センターは CODE 海外災害援助市民センターの事務局をサポートしながら、震災の経験を伝え、痛みの共感をし、お互いに学び合い、海外の災害救援を通して、支えあいの輪を広げてきた。2014 年度も東日本大震災への支援活動などで多大なご協力をいただいた。また、CODE 海外災害援助市民センターの現地フィールド研修に協力した。

6/13 四川研修

6/15-19 中越・金沢研修

6/27 CODE のタベ

7/2 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団ヒアリング(CODE 未来基金)

7/12 四川研修報告会

1/14-15、2/25-26、3/10 ファンドレイジング研修

2/12 CODE 寺子屋(講師:松本理事)

2/15 CODE 理事会

3/11 CODE 寺子屋(講師:室崎副理事)

#### 4. 提言・ネットワーク事業

(A) 2014 年度に「阪神・淡路大震災から 20 年 KOBE 市民と NGO フォーラム 2015」の開催

2015 年 1 月 24 日～31 日に開催した。2015 年度は寺子屋事業でアクションプランの具現化を図った。

※宣言文とアクションプランはじゃりみち 104 号を参照

・5/22 フォーラム振り返り

・その他

(B) 足湯ボランティアからの提言

東京大学被災地支援ネットワークと連携し、震災がつなぐ全国ネットワークの一員として足湯のつぶやき分析から生まれた「足湯のつぶやき」(ボランティアと専門職の連携のためのガイドブック)作成(助成:日本財団)に取り組み 5 月末発刊。こちらのガイドブックの内容には足湯ボランティアからの提言が盛り込まれている。

また、同ネットワークと連携し取り組んでいた足湯ボランティアに関する書籍として『震災被災者と足湯ボランティア―「つぶやき」から自立へと向かうケアの試み』(似田貝香門・村井雅清編著、生活書院、2015・7・20 発行)を発行した。

4/7 つぶやきガイドブックの打合せ

(C) 災害ボランティアハンドブックの作成

関西学院大学災害復興制度研究所の依頼で、製作協力を受託。災害時における若者がボランティアの一步を踏み出すためのハンドブックづくりに関わった。発行は 2016 年度 6 月頃発刊予定。

9/11 ハンドブック打合せ

11/14 ハンドブック打合せ

1/21 ハンドブック打合せ

(C) まけないぞうからの提言

足湯ボランティアと同じく東京大学被災地支援ネットワークと連携し、同ネットワーク開催の「復興グッズ被災地支援グッズ主宰者連携会議」に定期的に参加。同ネットワークが主催した“シンポジウム「〈災害時経済〉と市民社会～支援と自立をめざす市民事業をめざして～」”に増島・村井が参加。これまで追求してきた「災害時ボランティア経済圏」の概念形成に努めて来た。

3/26 “シンポジウム「〈災害時経済〉と市民社会～支援と自立をめざす市民事業をめざして～」

(D) その他

2015 年度で第 11 回目となる東海地震に備えた「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」でのネットワークには引き続き関わってきた。県外メンバーとしてプログラム作成のためのワーキンググループ(WG)にも頼政代表が参加

した。

・WG ミーティング 4/15、5/20、7/15、9/9、11/25、2/10(頼政)

・図上訓練(12/11～13)

・ネットワーク委員会 5/13、7/3、9/16(村井)

・ネットワーク事業

4/14 「友よ! 大重潤一郎魂の旅」上映会(ギャラリー島田/村井)

4/16 震災がつなぐ全国ネットワーク スカイプ会議(頼政)

4/18 国際開発学会連携委員会「新 ODA 大綱の動向と日本の NGO によるアドボカシー活動」(神戸大学で開催・村井)

4/25 「第一回国家緊急権」勉強会 永井幸寿(復興法制度研究会関西学院大学災害復興制度研究所)(村井)

4/27 神戸大学ボランティア支援室アドバイザー委員会(頼政)

4/30 しみん基金 KOBE 四役会議(村井)

5/7 しみん基金 KOBE 理事会(村井)

5/14 アジアパシフィックアライアンス ASEAN 防災担当官研修事業受け入れ(村井)

5/22 しみん基金 KOBE にて『友よ! 大重潤一郎魂の旅』上映

5/23 震つな総会(神戸)(村井・頼政)

震つな 2015 年度第一回寺子屋「20 年の支援、できたこと、できなかったこと」(村井)

5/28 しみん募金 KOBE 総会出席(村井)

5/29 被災地 NGO 協働センター総会

6/5 しみん基金『友よ! 大重潤一郎魂の旅』上映(村井)

6/6 第 111 回日本精神神経学会学術総会 「阪神・淡路大震災を忘れない―復興と心の回復の 20 年」(村井/大阪国際会議場)

6/9 大阪 UP 会議(しみんマニフェスト大阪 UP・頼政)

6/10 震災がつなぐ全国ネットワーク スカイプ会議(頼政)

6/11 神戸女子大学(頼政)

6/12 仏教 NGO ネットワーク「災害時における宗教者の役割」

6/13 神戸女子大学「神戸と防災学」(村井)

6/21 鎮守の森地域交流会 東日本大震災被災地支援交流会 “東北地区のお酒を楽しむ会”(村井・細川)

6/23 2015 第一回理事会(日本災害復興学会)(村井)

6/23 京都聖母学園小学校講義(頼政)

6/23-24 日本財団 D-sac 研修(頼政)

6/25 大阪ボランティア協会との打ち合わせ(大阪 UP)(頼政)

6/25 朝日会(村井)

6/26 ピースブリッジ(増島)

6/28 仙台・立正佼成会「東日本大震災から 4 年～今後の被災者支援について阪神・淡路大震災から学ぶ～」(村井)

7/2 大阪ボランティア協会・永井さんと打合せ(大阪 UP)/大阪 UP 会議(頼政)

7/3 神戸市消防局ヒアリング(頼政)/グループハウス尼崎見学(頼政・増島)しみん基金『友よ! 大重潤一郎魂の旅』(村井)

7/5 高村勲さん追悼式(村井・細川)

(実行委員会に参画)

7/6 おおさか災害ボランティアネットワーク(頼政)

7/7-9 日本財団 D-sac 研修(頼政)

- 7/10 日本と原発上映会(頼政・細川・増島)
- 7/10 神戸学院大学 現代社会学部「ボランティアが担うNPOの活動～阪神・淡路大震災 20年ボランティアの進展～」(村井)
- 7/13 大阪UP会議(しみんマニフェスト大阪UP・頼政)
- 7/14 震災がつなぐ全国ネットワーク スカイク会議(頼政)
- 7/18 新代表交代お披露目会
- 7/21 おおさか災害ボランティアネットワーク(頼政)
- 7/27 OBCラジオ取材(頼政)
- 7/28 映画『久高オデッセイ第3部 風章』上映(第1回上映会実行委員会)(村井)
- 8/4 人と防災未来センター事業評価委員会(村井)
- 8/10 ラジオ関西出演(頼政)/震災がつなぐ全国ネットワーク会議(頼政)
- 8/11～12 日本財団 D-sac 研修(頼政)
- 8/21 にじと緑「自治体議員政策情報センター分科会」  
「阪神・淡路大震災から 20年 災害から市民を守る～ボランティア・NGOの視点から～」(村井)
- 8/25 震災がつなぐ全国ネットワーク会議(頼政)
- 8/26～28 日本財団 D-sac 研修(頼政)
- 8/27 黒田裕子さん追悼式フォーラム実行委員会(しみん募金こうべ)
- 8/31～9/4 神戸松蔭女子学院大学よりインターン受け入れ
- 9/1 ゆめ風・基金ヒアリング(しみんマニフェスト大阪UP)(頼政)
- 9/3 NHK取材/大学コンソーシアムひょうごボランティアプログラム(頼政)
- 9/4 しみん基金『友よ！大重潤一郎魂の旅』上映(村井)
- 9/8～9/10 静岡・牧之原交流会(頼政)
- 9/11 おおさか災害ボランティアネットワーク打合せ/1.17希望の灯会議(頼政)
- 9/20 防災士研修講座「防災とボランティア活動」(大阪国際交流センター)(村井)
- 9/26 2015年度日本災害復興学会(専修大学 神田キャンパス)(村井)
- 10/7 第36回大分県精神保健福祉大会「ボランティアにもできる心のケア」(大分県こころとからだの相談支援センター)(村井)
- 10/17 映画『久高オデッセイ第三部 風賞』上映～堀田泰寛を囲んで～(村井)
- 10/24 日本福祉文化学会シンポ(石田先生・桃山学院大学)「兵庫県立美術館」地域文化から福祉をみる～大震災後20年の神戸から～(村井)
- 10/26 全日本仏教婦人連盟大会(頼政、増島)
- 10/30 しみん基金公開審査会(村井)
- 11/1 兵庫部落解放同盟大会(頼政)
- 11/13 1.17希望の灯会議(頼政)
- 11/11 神戸松蔭女子学院大学「災害ボランティアを学ぶ」(村井)
- 11/12 熊本学園大学社会福祉学部「災害ボランティアの心構え～水俣、阪神・淡路大震災、東日本大震災」(村井)
- 11/14 防災士研修「防災ボランティア活動」(尾道市総合福祉センター)(村井)/関西学院大学ガバナンス研究会(頼政・増島)
- 11/16 関西学院大学コープこうべ(村井)
- 11/18 神戸松蔭女子学院大学(村井)/震災がつなぐ全国ネットワークスカイク会議(頼政)/伊藤忠ボランティアワークショップ(頼政)
- 11/21 阪神・淡路大震災20周年記念黒田裕子さん追悼フォーラム事業(村井)
- 11/22 防災士研修「災害とボランティア活動」(大阪国際交流センター)(村井)
- 11/25 神戸松蔭女子学院大学(村井)
- 11/28 「災害と人権」(明石市二見地区人権教育研究協議会)(村井)
- 12/2 神戸松蔭女子学院大学(村井)
- 12/3 福井大学共通教育「災害ボランティア論」(村井)
- 12/4 阪神・淡路大震災と東日本大震災から何を学ぶか～現代社会学からの提言～(神戸学院大学)(村井聴講)
- 12/5 災害時におけるこころのケアモデルの構築(JICA)テーマ「災害ボランティアの養成、調整、活動について」
- 12/9 神戸松蔭女子学院大学(村井)
- 12/10 福井大学「組織論・国内外の制度論(NPOを含む)」(村井)
- 12/11 しみん基金成果報告会(コミマタ神戸)(村井)
- 12/14 日本財団 D-sac 会議(頼政)
- 12/16 神戸松蔭女子学院大学(村井)
- 12/17 福井大学「災害ボランティア活動時の基本的な心構えおよび法的責任」(村井)
- 12/24 福井大学「ボランティアコーディネーターの役割、ボランティアセンター」(村井)/日本財団 D-sac 会議(頼政)
- 1/10 日本災害復興学会理事会、全国被災地交流集会“円卓会議”「あきらめない最後の一人まで～中間支援・当事者支援・いるだけ支援」(村井・頼政)/新春荊冠びらき(頼政・増島)
- 1/11 2016年復興・減災フォーラム「“復興知”を未来につなぐ～東日本大震災5年を迎えて～」(村井参加)
- 1/12 神戸学院大学(本野一郎)(村井)
- 1/13 神戸松蔭女子大学「課題と展望」(村井)
- 1/17 21年目の「1.17」
- 1/18 JVOAD全国大会打合せ(頼政)
- 1/19 神戸学院大学(松本誠)(村井)
- 1/22 JICA研修「災害に強い街づくり戦略」“日本における災害ボランティアについて”(村井)
- 1/29 神戸シルバーカレッジ“グループ学習発表会”(村井・増島)
- 2/5 8ビットニュース取材(村井)
- 2/6 防災士機構(滋賀)「災害とボランティア活動」(村井)
- 2/7 神奈川で生きる鼎談(頼政)
- 2/8 全日本仏教婦人連盟新年修正会(頼政)
- 2/10 JICA草の根地域提案型事業説明会(村井)
- 2/12～13 JVOAD全国大会(頼政)
- 2/14 連帯兵庫“みなせん”(村井)
- 2/16 おおさか災害ボランティアネットワーク(頼政)
- 2/19 しみん基金理事会(村井)

- 2/21 中央大学来所・研修講義(村井)/まち・コミュニケーション御蔵学校(頼政)
- 2/26 兵庫県心のケアセンター「ボランティアが担う心のケア」(村井)
- 2/27 E テレ放送
- 2/28 灘チャレンジ地元委員会(頼政)
- 3/3～4 ハンセン病療養所見学(頼政・増島)
- 3/5 防災士研修(大阪)「災害とボランティア活動」(村井)
- 3/8 日本損保協会・東日本大震災 5 年シンポジウム「もっと！防災～東日本大震災の教訓から、防災・減災について考える」(村井)
- 3/10 堺・自由の泉大学市民講座(村井)
- 3/13 リレートーク「在日 2 世はどう生きるか」に参加(村井)
- 3/23 しみん基金ヒアリング(村井)
- 3/24 JICA「トルコ家族・社会政策省との意見交換会」(村井)
- 3/25 灘チャレンジインタビュー(頼政)
- 3/27 震災がつなぐ全国ネットワークシンポジウム(頼政)
- 3/29 (社福)野花会 2016 年度評議会・理事会(村井)

## 5.その他

- (A) 脱原発 24 時間リレーハンガーストライキ
- 2012 年度から継続して脱原発ハンガーストライキを「原発が停止するまでやり遂げる覚悟」を持って今日まで続けてきた。また、ハンストに参加して下さっている方同士の交流の場を設けた。
- 7/1 ハンスト交流会

### <関係団体・グループとのネットワーク>

- ・認定 NPO 法人しみん基金 KOBE/副理事長
- ・震災がつなぐ全国ネットワーク/団体会員
- ・阪神・淡路大震災人と防災未来センター/事業評価委員
- ・日朝兵庫友好の会/常任委員
- ・特定非営利活動法人レスキューストックヤード/評議員
- ・特定非営利活動法人 CODE 海外災害援助市民センター/理事
- ・日本災害復興学会/理事
- ・内閣府防災ボランティア活動検討会/メンバー
- ・関西学院大学災害復興制度研究所/外部研究員
- ・東海地震に備えた災害ボランティアネットワーク委員会
- ・9 条の会ひょうご
- ・神戸大学キャリアセンターボランティア支援室
- ・社会福祉法人野花会/評議員
- ・おおさか災害支援ネットワーク
- ・たつの女性が担う地域防災塾
- ・伝統文化木造技術文化遺産準備会
- (その他)
- ・神戸大学非常勤講師/神戸学院大学非常勤講/福井大学非常勤講師/神戸松陰女子学院大学非常勤講師/日本防災士機構/講師

## 4. 広報事業

会員間の連携と協働の充実を図るとともに、被災地内外の関係団体、支援者への情報発信を行った。

- ・じゃりみち 4 回発行(各約 800 部)
- ・HP は新たなデザインへと刷新し、情報発信を行っている。  
<http://ngo-kyodo.org/>
- ・FB などの SNS も利用しながら情報発信を行っている。  
<https://www.facebook.com/KOBE1.17NGO/>